

姫路南プロバスクラブ

二水会

令和7年4月



会報127号

1月例会報告 2月例会報告 3月例会報告

新年の一言

各会員

私の推し本、恋文の技術

坪田一夫

右目緑内障の手術

益田信行

我々は宇宙に支配されている？

松下秀明

雅子皇后

長谷川一彦

入院生活余録 川柳が優秀作品に

大橋一喜

ゴルフ

1 月例会報告

令和7年1月8日(水) 12:30~14:00

出席 13名 欠席 5名

1 月委員会報告事項

【総務委員会】

①本日の新年例会:「今年のひとつなど」

出席者全員によるフリートーク

新年に思う (大橋 一喜)

今年の新年は思いもかけず、病院のベッドで迎えることになりました。

暮れの12月16日に、緊急入院して、46日間の病床生活でした。下った診断は“腎不全”、人工透析が必要な身の上になりました。思い当たるような不摂生があったという自覚は無く、詰まるところ加齢による身体能力の劣化ということだと自分で思っております。既に、父母の亡くなった年齢を超えておりますので、やむを得ない成り行きかもしれません。したがって、新年の抱負は、「余生を穏やかに過ごすこと」です。

幸い、退院してきた今は、不自由ながらも一応自立出来ておりますので、残された身体機能を駆使して、穏やかに過ごせればと願っております。

それにつけても、人生の残り時間に限りを感じると、やり残したことどもの多いこと。

新年にあたって (明石 美奈子)

今年は昭和100年、戦後80年、阪神淡路大震災から30年等、の節目の年となっています。また巳年であるため脱皮して成長する年であるとも言われています。

しかしながら中味の濃い【昭和】という時代を生きてきた者としては今から脱皮はもちろん成長も難しいと思うのでせめて現状維持を心がけてこれから先も気力、体力を保てるよう努力したいと思います。

新年の言葉 (一井 佳美)

小さい頃は冬休み中なので友達にお祝いを言ってもらえないことが寂しかったり、両親からのプレゼントはお年玉と一緒にってしまったりと不満もありましたが、今となれば、区切りも良く歳も数えやすいので気に入っています(笑) 夫を亡くしてから三度目のお正月を迎え、ようやく何か前を向いて楽しみを見つけないかと思うようになりました。

プロバスクラブにお誘い頂き、入会して4ヶ月。例会に参加させて頂くたびに、先輩方の生き生きとしたお気持ちや前向きなお姿にいつも勇気を頂きます。生きる目標を皆さまからヒントを得られそうで心強い限りです。

夫の母は常に前向き、最強のプラス思考の人でした。口癖は「ケセラセラ」私が落ち込んでいると義母はいつも「よしみさん。クヨクヨしてもしようがないわよ。人生はこうでなければならぬということはない、なるようにしかならないの。ケセラセラよ」と。



期せずしてお隣の席の前田外美子さんが突然演台で「ケセラセラ」を歌われてびっくり。私は天啓を受けたような思いでした。これからは更に義母の座右の銘を受け継ぎ、前田さんの歌のように明るく「ケセラセラ」で生きて行きたいと思う新年です。今年もよろしく願います。

ケセラセラ (by Doris Day)

When I was just a little girl, I asked my mother.
What will I be?
Will I be pretty?
Will I be rich?
Here's what she said to me.
Que sera sera
Whatever will be will be,
The future, s not ours to see
Que sera sera

新年の一言 (梶原 一美)

イチフジ、ニタカ、サンナスビ

初夢で見ると縁起の良いものとされる。生まれてこのかた初夢には縁がないが、最近夢(らしきもの)はよく見るようになった。そのうち初夢を見てみたいものだ。夢らしきものとは、時間、場所も混在化したぼんやりした記憶が朝起きた時にも残っているから。これは私がいま農業に夢中になっていることと関係があるかもしれない。私の実家は典型的な兼業農家で、小さいときから春の田植え、秋の取入れなど農作業の手伝いをしていた。会社勤めの間は途絶えていたがリタイヤ後は、車で4~50分の畑通いを始めた。

ここに至るいきさつは長くなるので省くが、畑通いを始めると幼馴染みと再会したり、お隣さんとも親しくなった。今も自然は残っているが、昔はもっと自然が豊かで、幼いころはいっしょに野山を走り回り、池で水遊びをしたものだ。畑の前の道を自転車に乗って、山のふもとの池に泳ぎに行った記憶が懐かしい。

夢のなかでは、これらに加え会社に入って米国アーカンソー州の小さな町に駐在中に経験したことの記憶が重なる。アーカンソー州は農業州で綿花や大豆が有名だが全米一の水稻

の産地でもある。日本と同じ水田が広がり(規模が大きく直播きではあるが)コンバインでの取入れは日本の秋をほうふつとさせる。また取入れのあと、トラクターが巻き上げる土煙のかなた、地平線に沈む真っ赤な太陽は、季節は違えども日本の春霞の中に沈む夕日を想起させ、異国の地で郷愁を誘われたものだ。でもこれらは記憶の奥底に長らく沈んでいた。最近、これらの記憶が夢のなかによみがえるようになった。それも幼いときの日本のものと混然となり、時空を超えた不思議な感覚である。

話を農業に戻すと、昨年からムクナ豆の栽培を始めた。L-ドーパを豊富に含み、体の活力源になり、パーキンソン病の治療・予防に効果があるそう。親戚、知人にパーキンソン病で苦しんだ人を何人か知っている。本人はもとより、そのお世話に家族も大変な苦勞をしているのを見てきた。

少しでも、これら苦しむ人の手助けになればとの思いから始めた豆栽培である。この栽培は思ったより手間がかかるが、体が続く限り続けようと思っている。

なお、私自身もこの豆を酢漬けにして毎朝摂っている。(パーキンソン病ではありません)ご希望の方にはお分けしますので、お申し出ください。



現状維持を目指す (川本 祥子)

私の今年の目標は現状維持です。今の状態を保ち続けることです。今が良いとは言えませんがこれから現状よりよくなるとは考えにくいと思います。

今のところよぼよぼしながら歩けます。特に身体的に悪いところはないようです。パソコンや携帯電話もとても十分とは言えませんが操作できます。趣味として枕の草子の書写や

英会話の Native Camp もやっています。読売新聞の英語クロスワードパズルと数独も時間がかかりますがやっています。今やっていることができる状態を維持することが大切だと思うのです。現状維持できないこともあります。今年で車の運転をやめ、免許証を返納します。そして第九の合唱も卒業します。今できることを現状維持することが今年の目標です。

新年抱負（田中 昭夫）

平素は自分の年齢、ひと様の年齢ともに無頓着で、年齢を意識して生活することは無いのであるが、この世に生を受けて、7回目の「巳」歳を迎えると謂うことで年齢の限界というものを考えさせられるきっかけとなった。

8回目の巳年となれば96歳である。それは無理であろう。ならばこれからの一日一日を充実した意義の在る過ごし方をしなければとならないと決意したところです。

そこで頭を過ぎったのが、江戸時代の晩年、幕府の学問所一昌平黌の学長を務められた佐藤一斎の三学戒という言葉に「少(わか)くして学べば壮にして為すあり。壮にして学べば老いて衰えへず。老いて学べば死して朽(く)ちず」という教えがあります。

「老いて学べば死して朽(く)ちず」。死して朽ちない為にはどうすべきか？ 諸々の事を多くの先輩・お師匠さんから教導いただいたことを、次の世代にバトンタッチすることであると気づき、情熱を傾けて注力することを決意したところです。

新年を迎えて（坪田 一夫）

四十過ぎから自転車であちこち走ることを楽しんでます。一昨昨年は五回ばかりに区切って四国一周八十八カ所巡りをやりました。一昨年は阿蘇山を走りました。去年は家から秋田まで走りました。11日かかりました。今年は久しぶりにしまなみ海道を走りたいと思っています。片道1日で走れる距離ですが、各島々

をゆっくり観てまわり、島々で宿を取って、往路を5日ほどかけて走ろうかと考えています。復路は1日で帰れると思いますので、今治か尾道



で1日余計に過ごしても一週間の旅になると思います。問題は天気です。雨でもカッパを着て走れなくはないですが、やはり晴れている方が気持ち良いものです。いろいろな予定と天気予報をにらめっこしながら日を決めます。

他に運動といえばゴルフをやっています。プロバスクラブのコンペにも参加しておりますが、出来れば70を切りたいと思っています。といつてもプレーを終えて、お風呂場で乗る体重計の針の話ですけれど。

令和7年新年の言葉（中野 剛）

正月は晴天に恵まれて良い年になりそうです。今年は阪神淡路大震災から30年目の年になります。甚大な災害を見聞きした中で、健康で87歳を迎えられた事に感謝したいと思っています。来年は米寿を迎える年になりますので、今年は「終活」を深く・細かく考える年にしたいと思っています。数年前からエンディングノートに記入し、毎年1月に更新しており子供達にも見せて話すことにしていこうと思っています。特に、何を何処に収納しているのかとか、どこ誰かへの連絡先とか、通販での定期購入品のキャンセル等々をこと細かく話しておくことにするつもりです。

世界はどうなるか？（長谷川 一彦）

まずウクライナのロシア侵攻がありますがロシアの暴挙から1000日を超えました。ところが最近のウクライナはロシアのクルツク州でロシアや北朝鮮を圧倒し石油製油所や輸送ポンプ所や兵器工場などをドローンで攻めて圧倒しています。戦争が終わっても戦後復旧には50

年以上かかるようです。又一方中国は「一帯一路」政策で資金なく(IMFが貸さない)失敗し南シナ海の南沙諸島浸水し170兆円が無駄になっています。少子高齢化や恒大集団(建設)の失敗や半導体の技術開発が無理です。今後50年程は過疎化(上海のゴースタウン化)があります。ヨーロッパではドイツはじめ技術力やエネルギー問題で停滞するでしょう。今こそ日本は粒子砲や小型核融合、鉄道技術、半導体技術で世界を引っ張らねばなりません。

今年の抱負 (藤原 関夫)

若い頃は具体的な抱負がいくつもありましたが、昨今は健康など抽象的になっています。

数年来改良してきた地元祭りの屋台照明もほぼ完成し、今年はこの地域外にも広げて行きたいと思っています。マイコンで自作したプログラムによる躍動感のある照明で、点滅ではなく強弱の揺らぎがあり他に無いはずです。

一年で祭りの宵宮と本宮の2日間だけの活躍ですが、見に来て下さった方々に”綺麗だね”と感銘を与えられれば、と思っています。

新年のこと (前田 外美子)

新年は、大晦日からのお城ウォーキングから始まった。お城の清水門までチョツキリ 1 時間15分。それからお城を廻ったり、美術館に行ったり・・・そう言えば、お正月というのに、男女共着物姿には出合わなかった。日本ならではの四季を通じての風物誌も縁遠くなった感じがした。

「お題の新年のひとこと」

ケ、セラ、セラ、なるようになる、先のことなどわからない

この精神は、今年も変わらない。今を一生懸命生きる。丁寧に生きる。お洒落に生きる。そう思いながら、生きてきて88年たった。遥かなる年月を過ごしてきたもんだ。後悔はなく、晴れやかである。ケ、セラ、セラ



新年のひとこと (益田 信行)

1. 健康第一とする
2. 断捨離を実行する
3. ペン画を再度始める
少し内容を付け加えると

1:右目の緑内障の治療に専念する

・公園での日曜日の早朝太極拳を今年も続ける

2:苦手な断捨離を「必要 不要 保留」に分けて本気で少しずつでも着実に進める。

3:よく描いていたペン画を気楽に趣味とする。

今年の巳年は、再生と変化・柔軟に発展していく年です。又巳年であるため脱皮して成長する年であるとも言われています。

2025 年新年のひとこと (松下 秀明)

「終活」から「最充活」へ

新年あけましておめでとうございます。

私は今年 75 歳を向かえます。世間では終活の年齢になったと、エンディングノートを始め、臨終への準備を煽っています。

私もそろそろと思いましたが、いざその年齢になると終活という言葉が物悲しく感じてきました。そこで楽しく最期を迎えるため、終活を「最充活」に置き換えました。最後の充実した活動ということです。そして最充活の方程式を作りました。

「最充活」= 安心 + 断捨離 + 生きがい行動

安心は健康を始め、住まい、移動など全ての活動のベースとなります。

断捨離とは山下ひでこさんが提唱した整理整

頓ですが、私は「最充活の完遂」を目標に掲げ、大谷翔平が花巻東高校時代に作った「目標達成シート」のマンガラートを模して、「断捨離マンガラート」を作成しました。これは密教の金剛界曼荼羅とアートをくっつけた強制発想法だそうです。目標を達成するために8つの要素を作り、各要素に8つの具体的行動を設定しました。合計で64個の行動が出来上がり、優先順位をつけて楽しみながら取り組んでいく予定です。

しかし、それだけでは十分なモチベーションが得られません。さらに生きがい行動を設定しました。例えば、会報誌に寄稿している随筆の執筆や大学での授業、3回目の自費出版など、毎日ワクワクする創造性を持った活動を設定したのです。

今年はその本格的なスタートの年とし、明日を楽しく生きている夢を見ながら、砂時計の砂を一粒ずつ慎重に選択して、毎日を充実して過ごしたいと思っています。

私の推し本『恋文の技術』

(森見登美彦:著/ポプラ文庫)

坪田一夫

京都から遠く離れた能登の実験所に飛ばされた大学院生・守田一郎が文通武者修行と称して京都の仲間や家族、家庭教師先の少年ら知人宛に手紙を書きまくる。そのやりとりのみで構成された書簡体小説である。

大学は睨と書いてはないが京都大学と考えて間違いなからう。例によって森見氏お得意のヘタレ学生ものである。京都大学の院生なので秀才であろう。しかし秀才であるからと言って、如才ない男とはかぎらない。頭脳は明晰だが、現実世界を生き抜くには



いささか実戦不足。他にとりたてて特徴なく、容姿も十人並み。世の乙女の多くが憧れる男とはほど遠い男、愛すべきダメ男、それが守田一郎である。

『恋文の技術』というタイトルから「炎々と燃えさかる恋心」が綴られているのかと言えばそうでもない。むしろ「悶々とくすぶる屈託」がそれこそえんえんと並ぶ。その様はまさに諧謔の嵐。機知なのか頓智なのか戯れ言なのか、正体不明、意味がありそうで無い、それでいて隠しようのない情念がピンピン感じられる言葉が雨あられと目から脳へ侵攻してくる。そう、森見氏の紡ぐ言葉はまるで魔法の呪文のごとく私を絡め捕って離さない。何なのだ、この中毒性は。最初の書簡を読み始めたが最後、延々と綴られた優に百通を超える手紙をむさぼるように読むことになろうとは。「おっばい」という言葉を何度も何度も数え切れないほど読まされてしまった。馬鹿馬鹿しさも茲に極まった。ちなみに私は十数年前にこの『恋文の技術』を一度読んでおり、今回再読である。水ぼうそう、おたふく風邪、はしか、風疹、猩紅熱といった病原体ですら、一度かかってしまえば二度はかからないというのに、森見氏の言葉は私の脳をまたしても冒してしまった。感染症の多くは一度罹れば二度目は軽く済むものだが、なんとこの症状はかつてのものより重篤である。不条理ともいえる中毒性を森見氏の文章は持つ。要注意である。

書簡体小説といえば『三島由紀夫レター教室』が思い浮かぶ。それも味わい深くおすすめするが、どちらを推すかといえば、私はおもしろさにおいて断然こちら『恋文の技術』を推す。

右目の緑内障の手術

益田信行

正月三が日を過ぎた頃、急に右目がぼやけて見えだした。左目の時は徐々に時間をかけて視野が狭くなってきたのに今回は急にであ

る。3ヶ月おきに通院治療しているツカザキ病院に予定より早く1月7日に予約を入れて訪問。診察だけの予約であったが種々の検査を受けた。その結果、担当の先生からこのまま遅らすと失明の恐れがあるからと手術日を無理にとつてもらい、手術入院が1月12日、13日にして頂いた。当日、手術は順当に終わることが出来ました。

退院後の家での過ごし方に色々制限があり、先ず目薬を一日4回(朝、昼、夜、前寝)点眼すること、更に重いものを持たない、力まない、咳込まない等の制限がある。そして現在は1週間に1回程度の通院治療を行っている。

ここで緑内障をご存知ない方もいると思うので、少し書いてみます。

緑内障とは、眼圧が高くなると視神経(物の色や形、光の明るさの情報を脳に伝える役割をする神経)を圧迫し視野が欠けてしまう病気。眼圧とは目に房水と呼ばれる液体があり、その液体が増えることで眼圧が高くなること。症状の治療法は、症状の進行を抑える方法として、「点眼液」「レーザー治療」「手術」など3つの方法がある。しかし一度障害を受けた網膜神経線維は回復できる治療法は今もない。ただ眼圧を下げ視野の障害を遅らせることは可能である。

手術後、眼圧が安定するまで1か月、視力回復は1~2か月かかると言われている。現在私は、テレビ新聞の代わりにラジオを聞きながら視力が回復することを信じて静かに暮らしています。

最後に皆さんへ。40歳以上の20人に1人の割合で緑内障になると言われているので、自分は無関係だと無視せずに程々にご注意下さい。



我々は宇宙に支配されて生きている？ (その3)

松下秀明

脳と腸は繋がっている？

脳は意志薄弱、腸は頑固だそうです。寿命の9割は腸で決まると言われるほど、腸が体のほとんどを支配しているということです。それは生命が約40億年前に誕生したときに獲得したのが腸で、脳ははるか後の約4億年前にやっと獲得したのが理由だそうです。今も胎児は腸から作られます。脳のない生物はいますが、腸のない生物はいないそうです。よって脳の中樞時計と腸の抹消時計は別々の働きを持っています。

それでも脳と腸は約2000本の神経線維で繋がって連携プレイをしています。それは腸が「第二の脳」と呼ばれるほど多くの神経が密集しているからです。緊張したり、不慣れな環境におかれて脳がストレスを感じたりすると自律神経が乱れます。その結果、交感神経が働きすぎると便秘になり、副交感神経が働きすぎると下痢になるのは脳と腸が関連しているからです。

セロトニンやドーパミン、オキシトシンなどの感情を決定する物質はほとんど腸内で作られます。腸の細菌環境を整え、必要な栄養素やビタミンを摂取し、神経伝達物質やホルモンを正しく分泌することが、中樞時計のリズムを安定化し、全身の抹消時計とうまく同調させることとなります。これらは「脳腸相関」と呼ばれていますが、腸内細菌も大きく関与し、最近では「脳-腸-微生物相関」という新しい概念に進化してきているそうです。

疾病にかかる時間帯がある

体内時計は1日の活動に合わせて、自律神経を通じて体温や血圧、ホルモン分泌などのタイミングを傳達しています。乱れた場合睡眠障害を始め、うつ病、肥満、糖尿病などの代謝障害や、免疫・アレルギー疾患、アルツハイマ

一病、骨粗しょう症、さらにがんの発症にもつながることが分かってきました。

例えば、脳卒中が介護理由の1番ですが、それが発生するのは朝夕がピークで、血圧が最も高くなり、心臓の収縮率も高くなり、血液が粘っくなる時間帯です。よって心血管障害の投薬は、夕食後や就寝前に降圧薬を服用することがすすめられています。

喘息は夜中の2時から4時の間に起きやすく、これは副交感神経が強く働き気道が狭くなるためです。アレルギー疾患は朝方に多く発生します。これも体内時計が免疫細胞を制御するのが弱い時間帯に発生しているそうです。

骨粗しょう症に関しては、昼間は破骨作用が主に働き、夜は造骨作用が働きます。その結果、カルシウム製剤や食材、ビタミンDの摂取は夕方の方が有効とされています。(つづく)

2月例会報告

令和7年2月12日(水)

12:30~14:00

出席15名 欠席3名

委員会報告事項

【総務委員会】

①講演会:

(株)トアロイ代表取締役会長 佐々木暢盈氏
演題:「能登半島地震から得た教訓」

このテーマで株式会社トアロイ(社員数150名、売上高34億円)の代表取締役会長の

佐々木暢盈氏(姫路市出身、前田会員の亡きご主人の知



人)が講演してくださいました。

トアロイ社は石川県知事の要請で石川県羽咋郡志賀町に進出しました。製品は「超硬合金」という非常に硬い合金です。創立40年の会社です。

会社創立、能登への進出の背景は「能登の人は人柄が良い」「能登の女性はよく働く」「美しい自然やおいしい食材が豊富」などの理由です。

平成19年3月25日9時41分の能登半島地震でも大変な被害をうけました。

金沢や名古屋に避難した人は帰ってきません。労働者を募集しても人が集まらないのです。農業は地割れで稲作ができず、漁業は港が復旧していないのです。また能登は山が低く大きな川がないため料理やトイレの水の確保が難しいのです。志賀町は井戸水、七尾市は白山から金沢経由で送水してもらい日本一水道代が高いのです。

能登に要なもの:

- ・道路、水道、医療、学校等インフラが早急に整備されること。

- ・生業(給料がもらえる仕事)があること。

ではないでしょうか、で講演は終わりました。

長谷川一彦

佐々木氏の東京、姫路、能登

前田外美子

能登地震を語って頂いた佐々木さんは、彼が18才の頃、夫の友人の教え子で、前田知克法律事務所に勤務され、以後ずっと東京時代、姫路時代を苦楽を共にしてきた。特に夫の衆議院議員選挙に出馬二回、次点の敗北は、多くを共に学んだ。近藤、中塚、中野各氏とは、ゴルフ仲間で能登にも幾度か訪れた。

事務所の仕事の延長で、能登に工場を建設されて40年。まさかの1000年に一度の大地震に見舞われた。地理、地形等の条件も重なり、復興までには、程遠い現実を伺い、私達は

各々に多々の想いを馳せたことだと思ふ。

佐々木さんは、夫のことをいつも「大将」と呼んでいた。永年の来し方を思うと、この少しの枠の中で語るには僭越、浅簿なことであるが、ふと思った。

佐々木さんには「ひたすら」「ひたすら」という言葉がぴったりの様な気がした。

南海トラフ地震 無気味である。

②2月の誕生

藤原会員：今年も元気にお酒もしっかり楽しみたいと思っています。

③3月例会予定 3月12日(水) 12:30～

④その他

・梶原会員の紹介で黒田浩二様が体験参加されました。

・前田会員のお孫さんが参加されました。

・女性会員の皆様からバレンタイン「チョコ」をいただきました。毎年ありがとうございます。

【会 計】

①ニコニコ報告

大橋会員：思いがけず患いまして帰って参りました。健康がなによりと痛感！！

川本会員：厳しい寒さが終わった様で春遠からじ。

坪田会員：2月12日は「ブラジャーの日」：

1913年のこの日にアメリカ人女性、マリーフエルフ・ジャコブがブラジャーの特許を取得したことを記念してワコールが制定。

「ボンカレーの日」：1968年のこの日に大塚食品が日本初のレトルト食品「ボンカレー」を発売。さて、皆さんはどちらに軍配をあげられますか？ちなみに私は「ブラジャーの日」です。理由は訊かないで下さい。

藤原会員：誕生のコメントと同じ。

濱口会員：いつもニコニコ米寿まで。

前田会員：佐々木様、孫 共々お世話になります。

トアロイ：佐々木様から多分に頂きました。

皇后雅子様

長谷川一彦

世界の王室や要人との交流で大歓迎をうけています。ボディタッチ(下品で無礼)など決してしません。雅子皇后は外交もマナーも素晴らしく知識とセンスがありどの国からも愛されているのです。英国のチャールズ国王との対談では「英国へお帰り」「乾杯」とチークキスを受けられました。

ドナルド・トランプ夫妻が2019年に来日し会見した時メラニア夫人は緊張して言葉を詰まらせてしまいました。そこで雅子皇后はメラニア夫人の得意な言語のドイツ語に英語から切り替えたのです。メラニア夫人はユーゴスラヴィア出身で英語よりドイツ語が堪能です。トランプ氏は夫人に安心し濃密な会話ができました。トランプ氏は雅子皇后を非常に聡明で素晴らしい人物と絶賛しているのです。

ドイツの元首相メルケル氏(女性)が来日した時雅子皇后の外交力と語学力と人柄を高く評価し皇族としての気品、優雅さそして気配りを忘れない人間性の持ち主と表現しました。

フランスのマクロン大統領が2019年のG20で来日した時ブリジット夫人はフランス語とイタリア語が堪能で英語が不得意でした。雅子皇后は「ようこそ日本へおいで下さいました」とフランス語で話しかけられました。暖かい雰囲気になりマクロン大統領も安心して会談を続けられました。英国のエリザベス女王との心のこもった最大限の接遇とかオランダのベアトリクス女王やスペインのレディシア王妃との素晴らしい交流もあります。

最後にデンマーク王妃になったメアリー王妃(両親はスコットランド出身)はオーストラリアのタスマニアで生まれ1972年シドニーのパブでフレデリック皇太子と知り合い結婚しました。難しいデンマーク語をマスターしました。

雅子皇后は世界一の人間性と外交力、語学力(英語、フランス語、ドイツ語、ロシア語、イタリア語、スペイン語)の方です。

3月例会報告

令和7年3月12日(水) 12:30~14:00

出席 17名 欠席 2名

委員会報告事項

【総務委員会】

① 会員卓話 稲田会員

米国大統領トランプの再選と我が国の対米従属関係の今後

稲田堅太郎

1. トランプ再選の背景
2. トランプ政権の成立を見越した財団の政策提案
3. 対米従属下における日本の発展と制約
これらについての卓話。

アメリカにおいてもものづくりから金づくりの世の中になり白人労働者の労働環境がラストベルト(不況で錆びついた地帯)となり彼らの不満がトランプ支持となった。超格差の世の中になった。

戦後の日本はアメリカの大量の余剰小麦を消費するため学校給食でパン食をひろめた。1980年代の日本は米国の大幅赤字に比べ好景気だったので米国債を大量に買わされた。ドイツはそうでなかった。

過去に世界を圧倒した日本の半導体産業もアメリカの外圧により崩壊。現在では中国が力をつけている。Deep Seek など。

世界はパックスアメリカーナからパックスアジアーナへ。ブリックスやグローバルサウスも台頭。

石破総理の賢明な対応がのぞまれる。

以上



② 3月の誕生

大橋会長 梶原会員 田中会員

③ 令和7年度定時総会の予定

4月16日(水) 12:00~

④ 7月から年会費改訂の予定です。ご協力をお願い致します。

⑤ その他

・黒田浩二様が入会されました。

・市河保俊様が3月末をもって退会されます。

男性会員から女性会員に ホワイトデー感謝の品を渡されました。

有難うございました。女性一同より

【研修親睦委員会】

① 第11回3PC合同ゴルフコンペの予定

3月31日(相生CC)

【会計】

① ニコニコ報告

市河会員:お世話になりました。

大橋会長:入院中投稿した川柳が入選し表彰されました。

梶原会員:人生百年と言われて久しい。昨日の誕生日で、やっとその四分の三をクリアし今日からは、次の四分の一に向けて新たな一歩を踏み出しました。私自身まだまだ未熟で、知らないことがいっぱいです。これからも色んな事にチャレンジしたいと思っておりますので皆様、どうかよろしくご指導願います。

川本会員:広報誌にご協力、ありがとうございました。

田中会員:今年も無事に85回目の誕生日を迎えることができました。感謝です。

坪田会員:確定申告で30万円ほど返ってきました。ノートパソコンをウィンドーズ11のものに買い替えます。

中野会員:令和6年度最後の例会に健康で参加出来たことに感謝です。

濱口会員:いつもニコニコ、プロバス例会に参加できて感謝致します。

前田会員：東京マラソンは異常な暑さで大変でしたけど応援もがんばりました。

入院生活余録 『川柳が優秀作品に』

大橋一喜

昨年末、体調を崩し46日間入院生活を送りました。入院当初は、病状確定のための検査等で忙しいような状態であったが、病名が確定すると治療に移るので日々の生活に時間的余裕が生じる。この時間をどう過ごすか、読書、テレビ、その他いろいろ考えるが、なかなか難しい。そうした折に、面会所(喫茶コーナー)の一角に、病院の医療サービス改善委員会が主催する、『第4回キラリ川柳募集』の案内書が掲出されているのに気付きました。「どうせ暇なので、ひとつ川柳の真似ごとに挑戦してみるか」、という気持ちになって、暇に任せて、好き勝手に作ってみました。なかなか難しいもので、とても他人に見せられるような作品は作れない。しかし、何でもいい、作ってみようと思い組みでみたが、うまくゆかない。そもそも、川柳とは、…。俳句は、テレビの”プレパト“の、夏木先生じゃないが、五一七一五、で季語を配し、情景等を表現することだと理解するが、川柳は、季語は不要、ユーモア、人情のようなものが織り込まれることが必要だ、と思い定める。募集要項には、『入院や外来などに関する思い出や心温まるエピソード、職員に送るエールや医療体験など心温まる作品をお待ちしています。』とある。

折から、季節柄、病院の窓から見る外の景色は、時に家々の屋根が白く雪を頂き、寒そう。

『外寒波、この季の入院 避寒とか』

病院の中は、空調が効いていて、アンダーシャツに入院着という薄着で過ごせておりました。

『眼下の駅 なじみの順序で電車発つ』

病院の東側の眼下にJR加古川駅が見下ろせ、窓からよく駅を眺めておりました。普通電車がホームに入り、続いて新快速電車が隣のホー

ムに到着する。出発は、新快速が先に出て、普通列車はそのあとに出発する。私の最寄り駅は”曾根“、普通電車しか停まらないので、いつも新快速を見送り普通電車で帰っていた。

『受診先 単科で済まぬ歳となり』

この句が、のちに優秀作品に選ばれました。歳のせいに逃避していますが、病気の原因は自らの不摂生にあるに違いありません。

3月7日、病院において、院長先生、理事長他多数の病院関係者の見守る中、優秀作品3件の表彰が行われ、そのうちの1件として、表彰状をいただいてまいりました。



第11回姫路南・赤穂・相生合同ゴルフ結果 令和7年3月31日 相生CC



		グロス	HC	ネット
4位	中野 剛	93	20	73
5位	前田外美子	97	24	73
11位	市河保俊	97	19	78
19位	坪田一夫	110	21	89



とみこ

広報誌を担当して2年、11部発行を担いました。わからないことが多く大変苦勞しましたが広報部の皆様、顧問の藤原さんのお蔭で何とか務めることができました。感謝です。原稿をお寄せ下さいました皆様にも感謝です。S.K

姫路南プロバスクラブ広報誌
姫路市南駅前町 100 ホテル日航姫路 601 号室
姫路南ロータリークラブ事務局内
電話 079-224-8224
会報発行：広報委員会